

第 6 回
焼津未来創出プロジェクト創業支援制度構築事業
プロジェクトチーム会議議事録

【日 時】 平成 29 年 9 月 27 日（水） 午前 9 時 30 分～午前 11 時 00 分

【場 所】 焼津市役所会議室棟 201 号室

【出席者】 プロジェクトチーム構成員 10 名
焼津市 政策企画課 課長 飯塚 真也
焼津商工会議所 専務理事 岩谷 壽夫
大井川商工会 事務局長 下村 信仁（代理経営指導員 大石 祐輝）
焼津信用金庫 地域貢献部長 南條 和義
静岡銀行 焼津支店長 丸山 雄宏
焼津市 商業・産業政策課 課長 織原 照夫
焼津市 商業・産業政策課 産業立地育成担当 係長 小長谷 邦博
焼津市 政策企画課 地方創生室 室長 山下 浩一
株式会社サンロフト 社長 松田 敏孝
株式会社船井総合研究所 総務省認定地域再生 栃尾 圭亮
事務局 5 名
焼津市役所 政策企画課 政策企画担当 増田 幸一郎
焼津市役所 政策企画課 政策企画担当 木内 由季
株式会社サンロフト 山田 尚子、鈴木 あゆみ、服部 由実 ※敬称略

【次 第】

1. あいさつ（焼津市政策企画課長）
2. 早期に取り組む事業の具体的協議
 - （1）やいづビジネスミーティング
 - （2）やいづみらいカフェ
 - （3）先進市への視察（大阪府八尾市）
 - （4）やいづビジネスミートアップ 2017
3. その他

【議事録】

1 あいさつ（焼津市政策企画課課長）

2 早期に取り組む事業の具体的協議

「やいづビジネスミーティング」事業（仮称）について説明。

資料「1. 市長と意欲的な経済人が産業振興について語り合う場の設置」

平成29年度以降に実施を目指す創業等支援制度

1 市長と意欲的な経済人が産業振興について語り合う場の設置

H29着手

やいづビジネスミーティング（仮称）	
事業目的	市内のベンチャー企業や新規事業展開を計画している企業が、首長へプレゼンテーションを行う機会をつくる。これにより、行政として地場産業の課題認識や、今後の対策の方向性の把握、市内企業に必要な新たな支援策の検討材料とし、課題解決に向け市と産業界等が一体となることで、市全体の産業活性化へ向け、機運の醸成を図る。 また、プレゼン事業者による今後の課題等については、「焼津未来創出プロジェクト会議」により、官民連携による支援策の検討を行うこととする。
実施日程	平成30年1月25日(木) 14:00～16:00（H29年度は試験的に実施） プレゼンテーション15分/団体×3～4団体 その後、意見交換15～20分 計1.5時間程度
会場	焼津市役所本庁舎5階 応接室
目標数値 (H29年度)	プレゼンをした数 3団体以上
事業概要	・プロジェクトメンバーより候補者案をいただく。 ・焼津未来創出プロジェクト会議において、事前プレゼンを行う。（12月12日予定） (候補者案について) ① 市内で創業予定をしている者 ② 市内企業のうち、新たな事業展開を考えている企業 ③ 市内の産業関係団体のうち、新たな展開を考えている団体 ④ 候補者を「未来創出プロジェクト」で選定し、市が最終決定

出席者	プレゼンを受ける側 市長他、各関係部局長 外部団体の出席については調整
その他	プレゼンテーションは、創業予定者、市内企業、産業関連団体とし、事業内容や将来計画等を中心にプレゼンテーションを行う。市や産業界等への資金等の要望及び他企業・団体等の誹謗中傷は行わないこととする。

「やいづみらいカフェ」事業（案）について説明。

資料「2. 既存のカフェや飲食店等を活用したビジネスの語り場の設置」

2 既存のカフェや飲食店等を活用したビジネスの語り場の設置

H29着手

やいづみらいカフェ（仮称）	
事業目的	支援機関窓口へ創業希望者が相談をする際、現状では創業計画が抽象的な内容の者が多く存在することから、創業希望者同士が相談やアドバイスができ、自身の計画をより具体的にするための交流の場を設置する。これにより、創業希望者同士が、共同での創業へ向けた流れや、新たなネットワークができ、市内の創業促進が図られる。 また、各支援機関が開催するセミナー等の終了後に交流会的な位置づけとして開催する等、支援機関と連携し相乗効果を高める取組としていくこととする。
実施日程（予定）	平成29年9月から開催する。（計4回） 1回あたり2時間程度（支援機関の講師との交流によるアドバイスや、創業体験談などを交え、参加者が相談しやすい雰囲気構築すること。）開催時間に関しては、支援機関等との調整により決定。
会場（予定）	焼津市内の飲食店や喫茶店等を予定。
時期	H29.9月～H30.1月
目標数値（H29年度）	本事業への参加者 15人×4回＝60人

事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・市主催「創業たまご塾」の3コースでそれぞれ各1回実施。（計3回） ・県立大学国際関係学部 宮崎先生主催「焼津未来シャッター上映会&創業支援ワークショップ」後に実施。（1回） ・基礎的な講座や、創業者の体験談などにより、参加者の交流を深め、創業へ向けステップアップが図れるものとする。
その他	参加者の飲食費用は、個人負担とする。 会場借上料、講師謝礼等を市の負担とする。

「先進市の視察（大阪府八尾市）」について説明。

資料「3. 各支援機関の情報を一元管理・共有する仕組みの構築」

3 各支援機関の情報を一元管理・共有する仕組みの構築

H29検討

事業名	焼津市産業振興情報共有化事業 （ビジネスヒューマンリソースデータ管理）（仮）
事業主体	焼津市、焼津商工会議所（予定）
会場	視察先（大阪府八尾市）
時期	10月24日(火)または25日(水) ※日帰り
参加者	焼津未来創出プロジェクトチームメンバー
内容	H29:一元管理・共有できる情報の整理（何を共有できるか、どう情報をつなげていくか、どこが中心に管理するか、どのような仕組みを使うかなどを協議し、次年度に取り組む内容を定める）
効果	創業、就業、新規事業、事業承継などについて情報を提供する企業（人）・求める企業（人）、製品やサービス、支援メニューと利用例など、ビジネス関連の情報を一元管理することによって地域のヒト、モノ、カネが最大限に活用できる仕組みを目指す。

「やいづビジネスミートアップ 2017」事業（仮称）について説明。

資料「7. 地元企業、創業者、創業希望者、UI ターン希望者、学生が交流する
マッチングイベント開催」

7 地元企業、創業者、創業希望者、UIターン希望者、学生が交流するマッチングイベント開催		H29着手
やいづビジネスミートアップ2017（仮称）		
事業目的	UIターン推進のため、市内企業、創業希望者とUIターン希望者等の幅広い世代が交流する場を創設し、若い世代へのビジネスに係るリアルな体験を提供する。また、市内企業と大学生等の若い世代が交流することで、企業側には雇用確保や事業承継など将来の後継者獲得と、若い世代のアイデアによる新たなビジネス創出につなげるとともに、学生側には市内企業の就職先の検討につなげ、働くことをより身近に意識させることを目的とする。	
実施日程	H29年11月24日（金）18：00～21：00（片付け～21:30） ※IT経営フォーラム閉会后	
会場	焼津文化会館3F 会議室・和室	
目標数値 (H29年度)	本事業への大学生等若者参加者数40人	
主催	焼津市（協力：焼津商工会議所、大井川商工会 企画・運営：株式会社サンロフト）	
総来場者数 目標	参加者40名 出展社12社（1社1,2名を想定）	
参加者	UIターン希望者、県内外学生を中心とした一般者	

14

【意見交換（やいづビジネスミーティング）】

- （意見） 頑張っている焼津の女性をプレゼンターとして表に出してあげたい。
- （意見） 「やいづライフ」の掲載記事として取り上げれば、焼津市のPRにもなる。
- （意見） プレゼンターについては、事務局と商工会議所で調整していく。
- （意見） 事業承継に係るプレゼンは、現場サイドからの意見をPRする機会になる。事業承継で困っているターゲット層が誰なのか。焼津の場合は、事業承継するのは基幹産業が主だと思うので、その辺りにターゲットを絞って、市としてどんな政策で支援していくかというのは打ち出した方がいい。統計的にはかなりの件数が事業承継に困っているのがわかってきている。

- (意見) 事業承継の方は金融機関の方がプロだと思う。結局、中身（個人情報）はなかなか出せない。
- (意見) 事業承継や相続を絡めた話は非常に多い。一方で、事業承継、相続の区別がしにくい点もある。ただ体感として、承継がうまくいっている企業は比較的多い。プレゼンとは別の議論として、焼津市の現状、将来的なことも含めて考えていかなくてはいけない。静岡県事業引継ぎ支援センターと連携するなど、焼津に広げていくというのが必要になる。
- (意見) 今、県内の金融機関は静岡県事業引継ぎ支援センターからの事業承継に関するアンケートを頼まれている。静岡県事業引継ぎ支援センターに言えばデータはあるかもしれない。
- (意見) 静岡県事業引継ぎ支援センターからの話で承継者がいなくて困っているという話は現に焼津市内でもあるのは事実。本来的には金融機関に直接相談していただくのがいいが、どこに行ったらいいかわからないという課題もある。いろんな窓口をつくっておくことや、静岡県事業引継ぎ支援センターとの連携も必要になる。
- (意見) 市内企業の事業承継に係るプレゼンを行うにあたって、どのような方法で行うか相談していきたい。
- (意見) 「やいづビジネスミーティング」の事業目的について前回の指摘を踏まえ、「プレゼン事業所による今後の課題等については、「焼津未来創出プロジェクト会議」により、官民連携による支援策の検討を行うこととする」という1文を追加。プレゼンを聞き、どのような支援策を検討したかという成果資料をアウトカムとして欲しい。1～3月に課題解決の対策を会議で議論していく。

【意見交換（やいづみらいカフェ）】

- (意見) 交流の内容はどのようなものを予定しているのか。
- (意見) 創業たまご塾のセミナーに参加される方は意識の高い方なので、セミナーからうまく誘導できるようにする。講師の先生方との打ち合わせも予定している。有意義なみらいカフェにしたい。
- (意見) 全体的な中身についてはそれぞれの講師と話して進めていく。
- (意見) 「創業たまご塾」が終わり次第、15:30に始まる。全体的な流れについては今週末までに詰めていただく。

【意見交換（先進市への視察）】

- （意見） 日程は24日（火）か25日（水）を予定しているが、25日（水）に金融機関主催のセミナーがあるため、産業情報の共有をするうえでは25日（水）が適している。24日（火）で予定していたが、25日（水）はどうか。
- （意見） 日程が決まり次第、依頼文の用意をお願いします。

【意見交換（やいづビジネスミートアップ2017）】

- （意見） 「やいづライフ」掲載事業所の皆様に当日の参加を促す。
- （意見） 金融機関は出ないほうがいいか。人材不足で困っている企業に優先すべきか。
- （意見） 場所の関係もあり、キャパシティが限られている。ただ、できれば関係者として交流会には参加していただけるとありがたい。
- （意見） 学生を集める手法はどうか。東京や名古屋から平日夜に学生40名を集める方法を考えなくてはいけない。
- （意見） 現在、チラシを作っているところ。東京の有楽町のふるさと回帰支援センターにも協力をいただく。また、県内大学がCOC+事業で首都圏の大学ともUIターンの事業を展開しているのでそこに向けてもアプローチできないか考えている。参加学生には片道分のバスを用意する予定。
- （意見） 他の静岡県や静岡市のイベントスケジュールを確認する必要がある。前日や翌日にうまくイベントがあれば相乗効果を狙える。
- （意見） 県の協力をいただけたらありがたい。都内の大学とも提携しているため、ポスターを都内の大学に貼っていただくことも有効。
- （意見） なかなかチラシだけだと集まりづらい点もある。口コミを最大限に活用したい。静岡県・静岡市などでのUIターンのイベントでチラシをまくことも考えられる。学生を集めることが一番重要。
- （意見） 「やいづライフ」が10/2（月）にリニューアルされる。リニューアル後は「やいづライフ」を起点にして、メールマガジンやSNSなどデジタルな手法でも広報していく。
- （意見） 「やいづライフ」の本来のターゲットの学生を多く集めるという目的とイベントと連動していけるよう動いていく。

【3. その他】

(事務局) 静岡県立大学の宮崎晋生先生から、新産業創出ワークショップについて説明いただく。

(宮崎先生) 「しずおか中部連携中枢都市圏」の事業の一環として、新産業創出ワークショップ、および、やいづみらいカフェとの連携でワークショップを開催したい。創業を考えている、アイデアをもっている方同士のコラボレーション、アイデアづくりの支援をしたい。起業を考えている方、新分野創出・新事業創造を進めたい企業、事業承継を絡めて新事業展開を考えている若手の方、地域のことに関心のある学生、地域企業への就職を検討している方に参加していただきたい。

【次回の会議】

日 時：12月20日(水) 9:30～

会 場：焼津市役所会議室棟 203号室

テーマ：仮プレゼンの実施、やいづビジネスミートアップや八尾市への視察報告、次年度以降の展開について

以上